

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

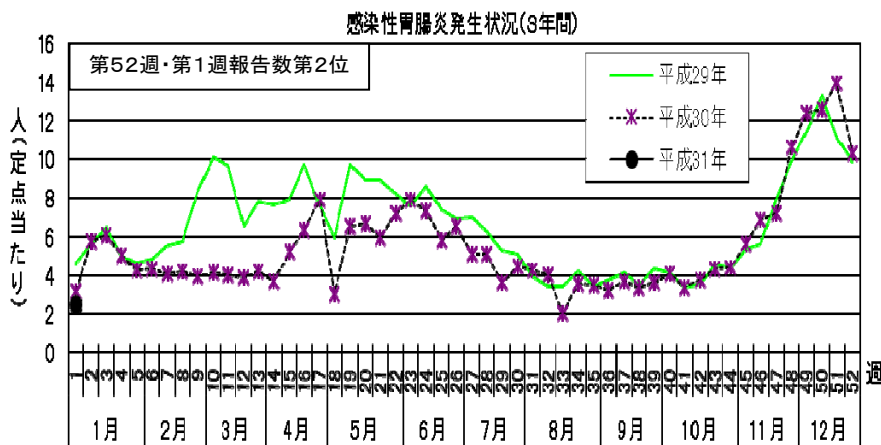
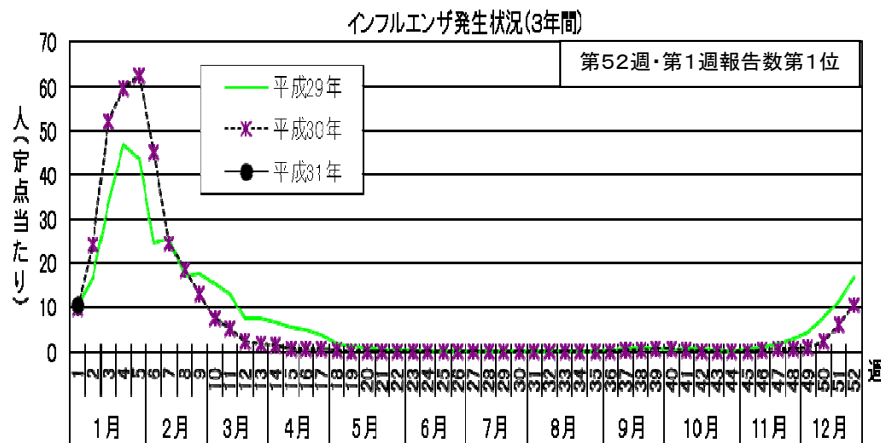
平成30年12月24日（月）～30日（日）〔平成30年第52週〕及び平成30年12月31日（月）～平成31年1月6日（日）〔平成31年第1週〕の感染症発生状況

平成30年第52週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

平成31年第1週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。

平成30年第52週は、インフルエンザの定点当たり患者報告数が10.62人となり、流行発生注意報基準値（定点当たり10.00人）を超えました。

平成31年第1週は、年末年始で多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。

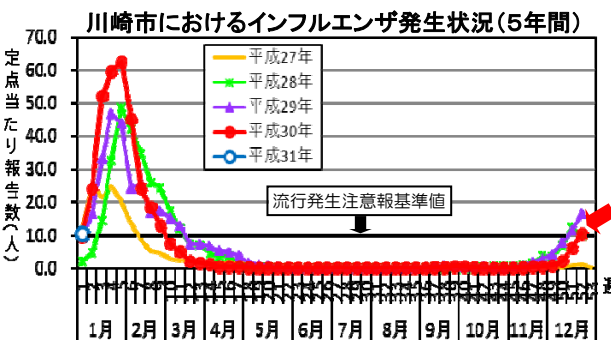


## インフルエンザ流行発生注意報発令！

全国では、インフルエンザの平成30年第52週（12月24日～12月30日）の患者報告数が11.17人となり、流行発生注意報基準値（定点当たり10.00人）を上回りました。

川崎市においても第52週の定点当たり患者報告数が10.62人となり、市内に流行発生注意報を発令しました。

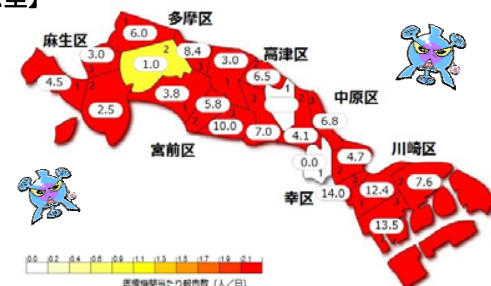
本市のリアルタイムサーベイランスによると、A型インフルエンザを中心に流行がみられており、学校や幼稚園等の始業とともに患者数の増加が予想されます。咳エチケットや手洗いを徹底しましょう。



### 川崎市感染症情報発信システム(KIDSS) インフルエンザリアルタイムサーベイランス地図情報

平成31年1月7日報告分  
※平成31年1月8日15:00時点

【A型】



【B型】

